

流域および河川の概要

- 笹目川は、さいたま市白幡を起点とし、中山道以西の主要市街地を水源として、笹目水門を経て荒川に合流する流域面積 20.56km²、流路延長 5.11kmの一級河川である。
- 笹目川の特徴は、流域内に行政機関庁舎や商業・業務系施設等が集積している典型的な都市河川であることで、流域の全域が市街化区域に指定されている。また、東京湾の潮位の影響を受ける感潮河川である。

河川整備の概要

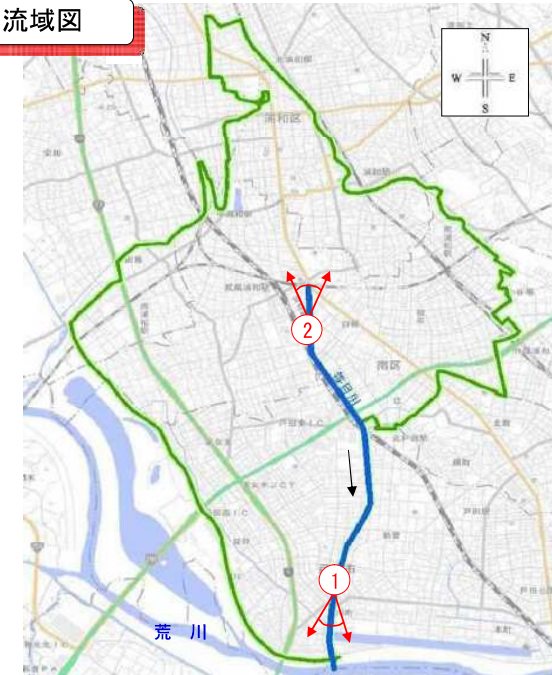
- 排水機場の増設及び戸田漕艇場の接続水路入口への新たな樋門の設置により、流域の浸水被害の軽減を図る。
- 河道については浸水被害の防止、軽減のための目標を達成しているため、適切な河川の維持管理に努めていく。
- また、地域協議会により策定された第二期水環境改善緊急行動計画にもとづく目標値を継続的に維持するため、水質改善や流量確保に資する河川の浄化や環境整備に努める。

整備にあたっての配慮事項

- 周辺の生態系に配慮して整備を行う。
- 地域住民の憩いの場となるように、景観と調和した親しみやすい川づくりに配慮する。



流域図



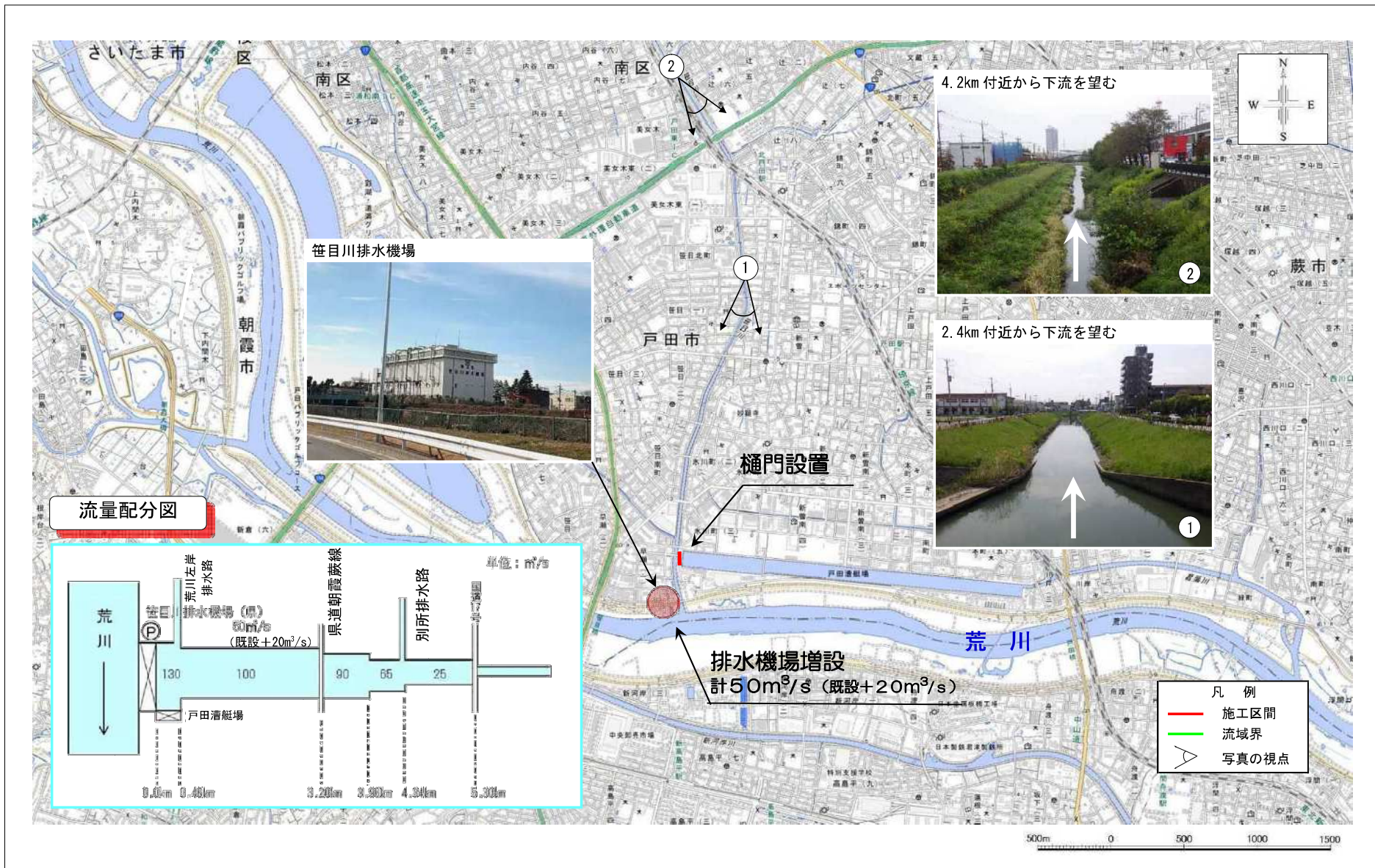
河川沿いの状況

0.35km 付近（荒川合流地点付近）



4.5km 付近





笹目川整備平面図 S = 1 / 25,000